

2024 年度 ニチイキッズみずほ台駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 10 日（金）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025 年 2 月 7 日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり」保育を実践し、活動や遊びの幅を広げていった。安全面に十分配慮した上で子どもの興味・発達に応じた遊びを満足いくまで楽しむことができた。子どもの思いや言葉に共感し、同じ目線で関わっていった。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの発達過程を職員間で共有し、目指したい姿やクラスの方向性を話し合っていた。子どもの発信を見逃さず、耳を傾け、寄り添う保育を実践していく。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や送迎時に、子どもの体調やエピソードを丁寧に伝えていった。個人面談や保育参加を企画し、保育園での姿を知ってもらう機会も作っていた。今後は、より開かれた保育を目指していく。
保育を支える組織的基盤	一つのテーマに沿ったディスカッションや毎月の職員会議、園内研修を実施した。職員面談も定期的に行い、意思の疎通を図っていた。一人ずつのキャリアプランを立てた上で計画的に研修に参加し、スキルアップを図っていききたい。

総評
- 子ども一人ひとりのありのままの姿を受容し、主体性を意識した保育を実践することができた。戸外活動では色々な公園へ行き、季節を感じながら、保育者や友達と思いっきり身体を動かして遊ぶ楽しさを味わった。次年度も戸外活動をより充実させていきながら、地域の人々と交流する機会も多く作っていききたい。 「オープンな保育園」を目指し、親子参加の行事を増やしたり、定期的に保育参加や給食試食会を実施したりして自園をより知ってもらい、保護者が安心して子どもを預けられる保育園作りに努めていく。